



2019年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月12日

上場会社名 株式会社三機サービス 上場取引所 東
 コード番号 6044 URL http://www.sanki-s.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 義兼
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 北越 達男 TEL 079-289-4411
 四半期報告書提出予定日 2018年10月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第1四半期の連結業績（2018年6月1日～2018年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第1四半期	2,662	25.3	72	150.8	75	155.5	51	158.4
2018年5月期第1四半期	2,125	13.7	28	11.8	29	33.7	20	21.0

(注) 包括利益 2019年5月期第1四半期 51百万円 (159.8%) 2018年5月期第1四半期 19百万円 (63.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第1四半期	8.94	8.82
2018年5月期第1四半期	3.58	3.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第1四半期	4,042	2,335	57.7	403.18
2018年5月期	4,735	2,445	51.6	422.25

(参考) 自己資本 2019年5月期第1四半期 2,334百万円 2018年5月期 2,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2019年5月期	—	—	—	—	—
2019年5月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年5月期の連結業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,976	13.2	437	14.5	433	13.1	290	10.8	50.15
通期	12,500	12.1	875	12.6	869	12.0	580	10.0	100.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期1Q	5,789,285株	2018年5月期	5,789,285株
② 期末自己株式数	2019年5月期1Q	75株	2018年5月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期1Q	5,789,227株	2018年5月期1Q	5,589,242株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善とそれに伴う雇用情勢の改善により、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、全国各地で発生した豪雨、台風、地震等の自然災害による被害や、米国の保護主義的な通商政策に端を発する米中の貿易摩擦による対立激化と警戒感により、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻くメンテナンス業界におきましては、設備の維持管理コストを減少させるための省エネ提案や、突発的な故障の発生を減少させるための保全メンテナンスの要望が多くなってきており、また、当社グループがメインターゲットとしている小売業や飲食業を中心とした多店舗展開企業では、メンテナンス管理の一括アウトソーシング化のニーズも高まってきております。

このような環境下において、当社グループは、24時間365日稼働のコールセンターを核としたすべての設備機器を対象とするサービスを強みとして、社内に蓄積されたノウハウやデータに基づき突発的な修理不具合を未然に防止するための保全メンテナンスや機器入替、また、環境改善を考えた省エネ等の提案営業を行ってまいりました。

また、自社メンテナンスエンジニアの多能工化（特定の設備機器のみならず数種の設備機器を扱うことができる事）により生産性を向上させるため、引き続き当社研修センターでの実機研修による人材育成に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、夏場の猛暑に伴う修理案件が増加したこと等もあり、2,662,522千円（前年同期比25.3%増）となりました。当第1四半期連結累計期間の売上原価は、売上高増加に伴う人件費やパートナーへの業務委託に係る外注費の増加等により2,151,486千円（前年同期比26.3%増）となりました。また、販売費及び一般管理費は、売上高増加に対応するための人員を採用したことによる人件費の増加等により439,021千円（前年同期比11.5%増）となりました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は72,014千円（前年同期比150.8%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は75,621千円（前年同期比155.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は51,727千円（前年同期比158.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ716,206千円減少し3,234,649千円となりました。主な要因は、現金及び預金が448,055千円、受取手形及び売掛金が323,635千円減少したこと等によります。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ23,238千円増加し807,850千円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ692,967千円減少し4,042,499千円となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ571,035千円減少し1,296,708千円となりました。主な要因は、工事未払金が424,485千円、未払法人税等が171,307千円減少したこと等によります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ11,486千円減少し410,728千円となりました。主な要因は、長期借入金が14,998千円減少したこと等によります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ582,521千円減少し1,707,436千円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ110,445千円減少し2,335,063千円となりました。主な要因は、配当金の支払い等により利益剰余金が110,371千円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の連結業績予想につきましては、2018年7月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,560,905	1,112,850
受取手形及び売掛金	2,215,150	1,891,515
未成工事支出金	77,181	92,320
原材料及び貯蔵品	15,207	32,110
その他	83,588	106,983
貸倒引当金	△1,178	△1,130
流動資産合計	3,950,855	3,234,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	253,559	249,998
土地	93,797	93,797
その他(純額)	29,895	27,209
有形固定資産合計	377,252	371,005
無形固定資産	51,219	75,304
投資その他の資産		
投資有価証券	74,148	74,820
長期前払費用	94,499	95,821
退職給付に係る資産	26,804	27,215
繰延税金資産	104,607	104,424
その他	61,002	64,180
貸倒引当金	△4,921	△4,921
投資その他の資産合計	356,139	361,540
固定資産合計	784,612	807,850
資産合計	4,735,467	4,042,499
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,154,921	730,435
1年内返済予定の長期借入金	59,992	59,992
未払法人税等	205,938	34,630
賞与引当金	141,164	77,773
その他	305,728	393,876
流動負債合計	1,867,744	1,296,708
固定負債		
長期借入金	100,028	85,030
役員退職慰労引当金	164,582	—
退職給付に係る負債	128,407	130,956
資産除去債務	13,995	14,048
その他	15,200	180,693
固定負債合計	422,214	410,728
負債合計	2,289,958	1,707,436

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,628	550,628
資本剰余金	436,128	436,128
利益剰余金	1,453,716	1,343,344
自己株式	△26	△99
株主資本合計	2,440,446	2,330,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,690	5,067
為替換算調整勘定	△608	△987
その他の包括利益累計額合計	4,081	4,080
新株予約権	981	981
純資産合計	2,445,509	2,335,063
負債純資産合計	4,735,467	4,042,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)
売上高	2,125,321	2,662,522
売上原価	1,702,874	2,151,486
売上総利益	422,446	511,035
販売費及び一般管理費	393,728	439,021
営業利益	28,718	72,014
営業外収益		
受取利息	168	338
受取配当金	208	259
受取手数料	302	316
受取家賃	579	579
為替差益	681	—
受取補償金	—	3,358
その他	256	346
営業外収益合計	2,196	5,198
営業外費用		
支払利息	491	483
為替差損	—	187
租税公課	725	825
その他	100	94
営業外費用合計	1,317	1,590
経常利益	29,598	75,621
税金等調整前四半期純利益	29,598	75,621
法人税等	9,578	23,894
四半期純利益	20,019	51,727
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,019	51,727

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益	20,019	51,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△697	377
為替換算調整勘定	588	△378
その他の包括利益合計	△108	△0
四半期包括利益	19,911	51,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,911	51,726
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、メンテナンス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。